



間もなく勤労感謝の日です。皆さん子供たちから感謝されましょう。
先日、相模原地区交通安全大会が開催されました。大会の中で交通事故により、高校生に限らず若き命を落とされる方がゼロにならない現実があると報告されました。

「命の大切さを考えよう！」

と題してみました。世界の情勢では、どこかで戦争、紛争が起きています。戦火で被災した方々の映像を目の当たりにすると心が痛みます。この平和な日本でも形すら違いますが自らの意志とは関係の無い交通災害に見舞われたり、誹謗中傷による個人攻撃に苦しみ自ら命を絶つという選択をしてしまう若者がいるという現実があります。

今年の夏休みには、水難事故により高校生が帰らぬ人となった事件がありました。また、ニュースでは学校でのいじめを苦しんで命を絶つという記事が載っていました。

私は正直、SNSによる誹謗中傷（もちろん良くない事ではあります。）は反抗期と同様に高校生では終息するものだと思っていた感があります。体格は大きくなり、精神的にも落ち着きが見られ社会の物事を冷静に見ることが育まれる時期ではないのかと考えていました。

しかし、現実には絶命を選択するほど深く悩み苦しみ「自分は何故ここにいるのだろう。」「自分は何も悪いことをしていないのにどうして皆は私を責めるのだろう。」「自分には生きる価値があるのだろうか。」「この苦しみから解放されたい。」その結果・・・というまさに心の負の連鎖に嵌まり込んでいる状態から抜け出す気力さえ失う状況になっていくことが最も恐れるべき事態を招くのではないかと思います。

保護者として出来ることは何があるのでしょうか考えてみましょう。結論は出ないかもしれませんが。子ども達が心の扉を完全に閉ざす前がポイントではないかと思えます。

お子さんとコミュニケーション取れていますか？特にお父さん！口を開けば「勉強しろ！」「将来どうするんだ！」「バカかお前は！」など昭和の親父になっていませんか。自分たちが高校生の頃を思い出してみてください。父親と気さくに会話していましたか？殆どの方がNoと答えるでしょう。自分が体験したことを逆の立場で同じことを繰り返していませんか。今は「令和」です「昭和」の考え方から転換してみましょう。放任主義や無関心または甘やかすのでは無く悩みを打ち明け易い親子関係を構築しましょう。具体的に何をすれば良いのかが悩みどころです。私もコリコリの昭和人間かもと文章を書きながら考えています。（反省）

また、子ども達には、「未来のあなたを必要としている人が必ずいるのだから短絡的に考えないこと。苦しいときは誰かに打ち明けよう一人で悩まない。」と伝えたいです。

先日の交通安全大会では麻高の生徒が自転車を利用する上で一番大切なものは何ですか？と問い掛けました。彼らの回答は「命」でした。如何ですか、今更親子で「命」について話をすることは難しいこともあるでしょう。ただ、何でもいいんです話が出来る雰囲気作りが「命」を守ることに繋がれば。ちなみに麻高生の問いに、私の回答は「体力」でした。（反省）